

新しくなった!TCUボラセンのニュースレター!😊

□献金報告

2018年10月18日にバルナバホールにて行われた、西日本豪雨被害支援ボランティア報告会では、1,800円の献金が集まりました。12月5日～7日のチャペル後に冬のボランティア活動の為に学内献金を募り、89,988円の献金が与えられました。この献金は、昨年の岡山県での災害ボランティアと冬休み期間に行われたサクラハウス子どもキャンプへ派遣するために、合わせて77,457円使われました。残額はこれからの被災地ボランティア派遣のために使わせていただきます。今後も変わり続ける被災地でのボランティア派遣を継続していくために、祈りと献金のサポートを宜しくお願い致します。

□活動報告

*西日本豪雨災害支援ボランティア

昨年夏に被害に大雨の被害を受けた岡山県倉敷市へ、TCUの5名の学生(木田友子、黒川めぐみ、小俣知嘉、吉澤愛祈、永島明日翔)を、11月26日～29日の4日間にかけて派遣しました。ボランティアセンターから岡山県へ学生派遣するのは2回目です。皆様には多くの祈りと献金によるサポートを感謝致します。

以下はボランティアに参加した学生の感想です。

◆感想:神学専攻4年 小俣知嘉さん

昨年12月に、私は初めて岡山の地へ行きました。動機は、ほんの少しの興味と、人手不足からでした。災害後しばらくして町にあったはずの殆どの瓦礫は撤去され、復興も順調かと思った矢先です。家や店のすぐ目の前に、まだ片付けられずに残っている瓦礫や、まだ泥が多くこびり付いている家々が目に入りました。助け手がまだまだ必要だと感じました。癒しもそうです。

しかし、やはり神様は全ての必要をご存知でした。既に沢山の人々に志を与えられ、そこに住む人々の心を徐々に開かれ、今まさに福音が伝わらんとする光景も、私には確かに見えていたのです。

私がお手伝いをできたのはほんの数日でしたが、これからも主の導きがある事を祈り続けたいです。



◆感想:教会教職専攻4年 黒川めぐみさん

今回初めて被災地ボランティアに参加し、西日本豪雨で被災した岡山県の真備町へ行かせていただきました。被災から約4ヶ月が経過し、一見、復旧は進んでいるかのように見えました。しかしよくよく注意して見渡すと、道路沿いにあるガラス張りの店舗の中身は空っぽで、ガラスには泥がついたまま……。そんな中、あるお家の床拭き作業をさせていただきました。家の中に入ると、天井近くまで浸水した跡がありました。たった一晩の間に1階が完全に泥水に浸かり、大切にしていたものをすべて失ってしまった家主の方の気持ちを思うと、悲しくてやるせなくて、涙が出てきました。1日も早く、家主の方が元の生活に戻れるようにと、一枚一枚祈りながら床板を拭きました。真備町では、まだまだ多くの方が仮設住宅での避難生活を余儀なくされています。今後も被災された方々のために祈り、許されるならば再度、ボランティアに行かせていただきたいと願っています。

出発前の岡山ボランティアチームです😊😊😊



☺️出発前のサクラハウスチーム!🌸

*サクラハウス子どもキャンプ

12月25日～12月29日に岩手県のシオン錦秋湖にて、TCUの7名の学生(久島真人、平井和基、Yulianti Ramahalim、小俣知嘉、永島明日翔、堀裕貴、Koryn De Vries)が子どもキャンプのボランティアスタッフとして参加しました。雪遊びなど様々なプログラムを通して被災地の子どもたちと交わりました。

◆感想:国際キリスト教学専攻2年

永島明日翔さん

昨年末に持たれました、サクラハウス冬キャンプボランティアには、TCUから7名の学生が派遣されました。シオン錦秋湖において三日間、子どもたちと恵み豊かな時間が守られたことを主に感謝致します。また、キャンプを主催された、立石明先生をはじめ、サクラハウスの皆様には、ボランティアメンバーを快く迎えて下さったことを心から感謝致します。

当キャンプに初参加であった私は、積極的な伝道ではなく、子どもに仕える姿をもって主イエスを証しするという経験は新鮮でした。キャンプでは、聖書の話ではなく、子どもたちの普段の学校や、家庭での生活の話に寄り添いました。出会って間もないスタッフに自分のことを打ち明けられる子どもの素直さに気づかされました。子どもたちが経験したことは、私の想像以上の出来事であったと思います。彼らと一緒に食前の祈りをもって、キャンプで与えられた恵みに感謝する時間は、本当に特別に思いました。彼らの成長が豊かに祝福されますように。

【募集】今年の夏のボランティアも募集が始まっています!ニュースレターを読んで、「行ってみようかな...」と思った方!是非私たちと一緒に行きましょう!♪

TCUボランティアセンターって?🤔

東日本大震災以後、学生の祈りの中からボランティアセンターは立ち上がりました。これまでに多くの学生を被災地支援のために、派遣してきました。

昨年、西日本豪雨災害が起きたとき、学内外で献金を募り、学生を岡山に派遣し、実際に災害支援活動を行いました。また、東日本大震災以降も継続的な支援活動を続けており、東北にも学生を派遣し、被災地支援を行なっています。学内では、ニュースレターの発行やボランティア報告会を行い、支援活動の様子を伝えています!

2019年度のTCUボランティアセンターでは、また新しいリーダーズも与えられ、リーダーの遠田ゆりなを筆頭に、David McDowell、泉ユリエ、Koryn De Vries、木田友子、Yulianti Ramahalim、一重めぐみの7名で活動しています!

この1年も主と共にあって、1人でも多くの学生をボランティアへ派遣でき、また被災地の助けとなることができようお祈りお願い致します。